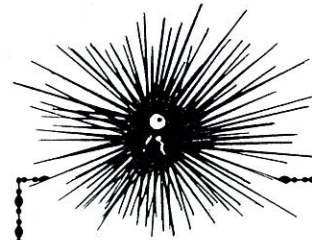


ガンガゼ

分類: ガンガゼ目 ガンガゼ科 (棘皮動物 ウニ綱)
 学名: *Diadema setosum*
 英名: Long spined sea urchin

伊豆半島から南太平洋及び東アフリカに至るインド洋の岩礁地帯の低潮線下に群生し、昼間は岩陰やサンゴ礁の間に潜んでいる。殻はイガ栗の球形で約5cm位、棘は頗る長く30cmに達するものもあり、先端は鋭く脆く折れ易く毒をもっているため刺されると、激しい痛みのほか、発熱することもある。ガンガゼは殻の表面には光を感じる器官があって、人や船などの影が近づくと一斉に鋭い棘をふり向ける。背面は肛門があって、金色の管状で長さ1cm位あって良く目立つ。沖縄周辺のサンゴ礁ではスズメダイ科の小さなミスヅリュウキュウスズメダイ *Dasyllus aruanus* の群が人が近づくとすばやく、ガンガゼの棘の根元に逃げ込むのが観察される。



ガンガゼ

